

～あそびの極意について学びました～

3月9日、まかせて会員・どっちも会員を対象に交流会を開催しました。今回は、あそび創造集団クロッシング主宰の金川直美さんを講師にお迎えし、「子どもの心をつかむあそびの極意」について教えていただきました。



指導者ではなく、“一緒に遊びを見つける人”になってください

講師
あそび創造集団クロッシング主宰
金川 直美さん

講座の前半では、「全身を使うあそび」を体験。自己紹介ゲームや、参加者同士が助け合う工夫を取り入れた鬼ごっこやフルーツバスケットを行い、参加者は一気に打ち解けて、大ハッスル！会場は大きな笑いと熱気に包まれました。



後半は、新聞紙を使った「素材あそび」に挑戦。ペアでどんな遊びができるかを考え、発表しました。思いがけない遊びが次々と生まれ、まかせて会員さんたちの豊かな発想力と柔軟な視点はさすがの一言。発表の場では、互いに称え合いながら、さらに遊びを広げる姿が印象的でした。

金川さんは、「大人は、遊びの中では子どもに何かをさせようとしなくていいことが大切です。遊びには、正しい遊び方や正解はありません。子どもと向き合いながら、その子と自分にとっての“楽しい”を見つけていく——それを“面白がる立場の人”でいてください」と語りました。

座談会では、お茶とお菓子を囲んで、日頃の活動の様子について情報交換を行いました。

よりよい活動になるように、兄弟への寄り添い方や安全確保の方法なども話し合われました。



また、「おねがい会員さんには、『お仕事や通院に限らず、買い物やリフレッシュなど、ご自身のためにサポートを利用していいんだよ』と、もっと伝えてあげたい！」という、優しい声も聞かれました。



ご多用の中、ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。交流会は、サポーター同士が思いを共有できる貴重な機会です。活動の有無に関わらず、どなたでも気軽にご参加いただけますので、ぜひお越しください。お会いできるのを楽しみにしております！

素敵なまかせて会員さんたちがサポートを楽しみに待っていますよ～



子どもたちと自由に新聞紙であそんでみましょう！

- 穴を開けて、丸めたボールを投げ入れる。
- すてきなコスチュームを作る。
- 「いないいないばあ」をしながら破っていく。
- 破った新聞紙のひらひらをキャッチする。
- アンパンチで破る。
- 五感を使って、ガサガサの音を楽しむ。
- 敷き詰めて、道を作る。

